

階級的自覚を促がし労働組合運動の理解と協力をせよとあることと比較的困難なる立場に置かれてある。其れ故其の教育運動には他の一般労働者と同じく其の。実際に迫進した方法をも以てせねば十分其の効果を望むること出来ぬ。

其の教育の一端として封建婦人労働者に對して最もわかり易い理解出来るものゝ其の教育用パンフレットの発行を實行し、今後二ヶ月に一回必ず其の発行を果行すること、其の以答及び財政的具體的方法は本部に任の上実行のこと。

一、教育方針に關する件。城東力ニ支部提出

主文
プロレタリア理論の徹底化を目的とする事

理由

教育の過程を辿り、ある資本主義階級階級層なる権取此の村周旋に産業合理化の名を以て労働者の權益を計り一方未脱化す労働者の圧迫に擴大する組織、トラスト、カルテルを持ち彼等の機關を利用し吾等の一挙一動を監視し強圧し圧迫す他才難難を要する彼等ブルジョアジイは彼等の持つ産業會費を神習スポート等を通じて欺瞞及勸励理屈を注入し大衆を眩惑しより自ら権取に狂狹狂走する現場程にあつて吾等が此れを對等の大災視する事は如著の尤め一欺地にまみれる事なり。之らば吾等には義務がある義務とは眩惑されし大衆の覺醒獲得の欺瞞及勸励理屈を粉砕する吾々の力と血盟とプロレタリア理論を以て之を然らば此の

プロレタリア理論を如何にして獲得すべきかは實際斗争教育に待たず此ルば存りないの尤吾々は此處に於て諸同志の徹底化教育ニ二丁入の發行にウニツのむん行労働學校の徹底化を敢する者である

実行方針

一、教育委員全設置(教育方針を決定する機関)

二、本部教育部の指令の下に支部は研究会を主催する

三、青年會支部全設置 説明者 松田鉄男

一、農村の父兄と連絡に關する件 澤毛又提出

主文

竹籬産業地帯に農村と關係の深しものは存り然るに該労働組合は何等農村の父兄と連絡機關の示し車を遺棄とする依て日本結核労働組合昭和四年擴大會は農村の父兄と緊密な連絡機關の設置を要し認め之が実行を計らんす

理由

支那階級は現下の行詰り多資本主義階級を打破せんとして所謂産業の各階級に狂奔し、ある産業合理化の遂行は凡そ職場に於ける労働大衆の生活権保障の斗争を激発せしめた、関東関西のありうる結核工場に起る最重労働争闘の激的増進は其の質的の深刻化を確年にも物語るものである彼等労働者の労働組合を骨髄にせんとする陰謀後付工所謂労働關係の懐柔策、労働的労働組合の職場の変更或は優待を婦人斗争を遺棄し人の手を通じて其